

# 格子 QCD による有限温度媒質中のチャーモニウムの分散関係の解析

浅川正之、北沢正清、池田惇郎（大阪大学）

重イオン衝突実験で生成されるチャーモニウムは QGP 中を運動している



■ 媒質中を運動するチャーモニウムの性質を調べたい

- ・ 分散関係
- ・ スペクトル関数の留数の運動量依存性
- ・ ベクターチャンネルの縦波、横波への分離

■ 虚時間相関関数から実時間の情報を得る

→ 最大エントロピー法

- ・ 誤差の評価が可能

